

SEP 2008 No.63

(事務局) (財)いも類振興会内  
〒107-0052  
東京都港区赤坂 6-10-41 ヴィップ赤坂 303 号室  
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225  
<http://www.jrt.gr.jp>

目次	頁
世界食料デーイベント／国際イモ年シンポジウム	1
ばれいしょのソイルコンディショニング栽培実証試験の公募について	3
農林認定（旧命名登録）制度について	4
農林水産祭「実りのフェスティバル」のお知らせ	5

「世界食料デーイベント / 国際イモ年シンポジウム  
～ イモを通じて食料問題を考える ～」について

社団法人国際農林業協働協会

食料価格の高騰に端を発して、食料安全保障問題が世界的な関心を呼んでいます。一方、第60回国連総会において2008年を「国際イモ年」とすることが決定され、イモ類の重要性を再確認するための機会となっています。今回、世界の食料安全保障をテーマとする2008年世界食料デーおよび国際イモ年の関連イベントとして、下記のとおりシンポジウムを開催します<sup>1</sup>。



主催：(社)国際農林業協働協会 (JAICAF)

共催：国際連合食糧農業機関 (FAO) 日本事務所、在日ペルー大使館

後援(予定)：横浜市、全中、全農、ホクレン、日本スナック・シリアルフーズ協会、(独)種苗管理センター、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、(財)いも類振興会、農林水産省

日時：平成20年11月9日(日) 14:00~16:30 (受付開始：13:30)

場所：パシフィコ横浜(横浜市) 会議センター5F 小ホール

横浜市みなとみらい1丁目1番1号 TEL: 045-221-2155

みなとみらい線みなとみらい駅徒歩3分、JR・市営地下鉄桜木町駅徒歩10分

使用言語：日英同時通訳

入場料：無料

<sup>1</sup> 日本においてはじゃがいもに加え他のイモ類についても対象にします。

プログラム（予定）：

(1) 基調講演

- ・FAO 専門家 「世界の食料安全保障と国際イモ年について」
- ・ペルーの大学または CIP（国際ポテトセンター）の研究者

(2) パネルディスカッション「イモ年を通じて食料問題を考える」

- ・コーディネーター：山本紀夫 国立民族学博物館名誉教授
- ・パネリスト： 山川 理 （社）農林水産先端技術産業振興センター研究

第3部長

稲泉博己 東京農業大学国際食料情報学部准教授

千葉宏子 女子栄養大学栄養学部助教

\*シンポジウム終了後、イモ類の試食および展示があります。

参加申し込み：

配布資料準備のため、**10月31日**までに以下の情報を記載し、郵送、e-mail 或いは FAX で事前に申し込んで下さい。

①氏名（ローマ字・漢字）②所属 ③住所 ④連絡先（電話・FAX・e-mail）

\*申し込みが定員に達した場合は、参加をお断りさせていただく場合があります。

\*参加受付のメール、参加証等はお送りしません。

◆申込み・問い合わせ◆

(社)国際農林業協働協会 (JAICAF)

鈴木陸保 (調査専門員)

TEL : 03-5772-7880 FAX : 03-5772-7680

e-mail : [bobsuzuki@jaicaf.or.jp](mailto:bobsuzuki@jaicaf.or.jp)

---

## 参加申込書

### 「国際イモ年シンポジウム」

平成 20 年 11 月 9 日（日）、パシフィコ横浜（横浜市）

(社) 国際農林業協働協会あて (FAX : 03-5772-7680)

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-10-39、赤坂 KSA ビル 3 F

氏名	所属	住所	TEL/FAX/e-mail

\*平成 20 年 10 月 31 日（金）までにご回答下さい。

# ばれいしょのソイルコンディショニング栽培実証試験の公募について

研究会事務局

「あなたもバレイショ新栽培技術に挑戦しませんか？」については、農林水産省委託プロジェクト研究「超低コスト土地利用型作物生産技術の開発」（北海道畑作地帯）の一環として、本研究の事務局が、広範な実用試験による適応性の確認をするため、北海道農業研究センターと連携して現場での実証試験に取組地域グループ（農家、JA、普及センター、試験研究機関等で構成されるグループ）を公募するものです。

詳しくは、以下のパンフレットをご覧の上、応募先に直接お問い合わせしてください。

## あなたもバレイショ新栽培技術に挑戦しませんか？

### 担い手プロ実証試験連絡会参加のお誘い（平成21～22年実施分）

農林水産省の実施する委託プロジェクト研究「担い手の育成に資するIT等を活用した新しい生産システムの開発：略称担い手プロ」では新しいバレイショ栽培技術の効果確認と適用地域拡大のため、様々な地域で実証試験に連携して取り組んでいただける地域グループ（農家の方と試験研究、普及機関やJA等の営農指導部局のグループ）を公募しています。参画された地域グループには実証試験の実施に必要なベッドフォーマー、セバレータ、培土機付深植プランターの各作業機をお貸しし、技術指導もご要望に応じて行います。

### 今回実証試験を公募するバレイショのソイルコンディショニング栽培技術

ソイルコンディショニングとはセバレータという機械で土塊・石礫を除去した播種床を造成することで加工用バレイショの規格内収量を向上させ、収穫時の選別労力を大幅に削減する栽培技術です。

技術の概要	技術の効果
<p>播種床を造成 大きな畝を切って準備。</p>	<p>これまでの栽培体系</p> <p>土が硬い トラクターの踏圧 石が邪魔</p> <p>ソイルコンディショニング栽培</p> <p>軟らかい土 石は通路へ</p> <p>石も土塊も無いし、大きさも揃っているから作業が速いし楽ですよ！</p>

実証試験連絡会に参画いただいた地域グループには

- ・平成21～22年の2年間農家園場での現地実証試験の実施をお願いします。
- ・生育、収量の測定や栽培方法、気象や土壌条件の記録をしていただきます。
- ・連絡会で開催する検討会等での結果の発表をお願いします。アンケートについては御了解のもとで利用させていただきます。

なお、実証試験においては、播種床造成及び播種培土に必要な新技術関連機械は貸与させていただきます。また、御要望に応じ技術の指導を行います。

＜わしくは<http://narc.naro.affrc.go.jp/inada/ninaite/> をご参照ください。

応募のしめ切り：平成20年11月14日  
応募先：〒943-0193 新潟県上越市稲田1-2-1  
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター内 担い手プロ推進事務局宛  
FAX：025-524-8578 Mail：Challenge50@naro.affrc.go.jp（お問い合わせ先も同上）

# 農林認定(旧命名登録)制度について

研究会事務局

農林水産省の委託による育種研究の成果である農作物新品種の情報公開・普及に関しては、これまでは、農林水産省としてその優秀性を認定したものに品種名を命名する「命名登録制度」を行っていました。平成19年度より新品種の命名は、育種機関に委ねることとした新たな「農林認定制度」を開始し、新品種の迅速な現場評価と普及実用化を図ることとしました。

詳しくは、以下によりご確認ください。

## 農林認定品種とは

委託プロジェクト研究、指定試験事業等の国の委託研究により育成された農作物新品種を対象として、その特性が優良で普及が見込まれるものについて、農林水産省農林水産技術会議事務局が認定し、その普及を促進するため、品種特性、育成機関名等を公表するものです。

平成18年度まで、国の委託研究により育成された新品種については、命名登録品種として、優良性の認定とともに、農林水産省として品種名の命名を併せて行っていました。品種の固定後、優良性の評価試験を実施し品種名称を確定するまでの数年間においては、種苗法に基づく育成者権の確保が出来ず、普及性を判断するため重要な要素である大規模な生産者・実需者評価については、事実上は品種の命名登録後に行われていました。

このため、研究成果の実用化をより一層早めることを狙いとして、平成20年1月に、育成者権の確保に必要な品種の命名を委託研究機関に委ねるとともに、農林水産省では優良性の認定のみを行うよう関係通知を改め、その規定に基づき平成19年度農林認定品種として、初めて新品種の優良性の認定と公表を行いました。

このことにより、今後の育種研究においては、委託研究機関の判断により、品種の固定直後から品種名称を確定して育成者権を確保した上で、早期に大規模な外部評価試験が行えるようになる効果が期待されます。

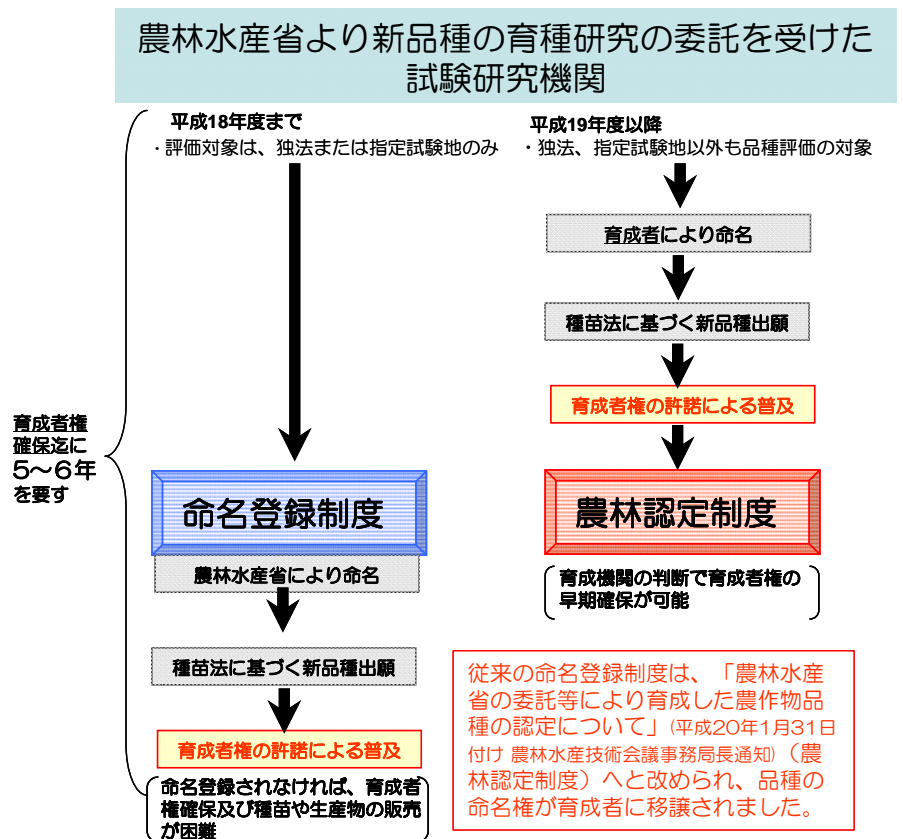


図. 「命名登録」から「農林認定」への移行について

## 農林水産祭「実りのフェスティバル」のお知らせ

(財) いも類振興会

農林水産業と食に対する国民一般の理解の増進と農林水産物の消費拡大等に資するため、都道府県、農林水産団体等の協力を得て、農林水産省・(財)日本農林漁業振興会共催による「実りのフェスティバル」が本年も開催されます。

(財) いも類振興会では、協賛企業のご協力を得て、「おいものブース」を出展し、ジャガイモやサツマイモの展示即売、加工品の実演展示を行うとともに、パンフレットの配布、いも類に関する質問等の対応を実施します。

皆様のご来場をお待ちしております。

<入場無料、事前申し込み不要>

### ○主催

農林水産省 (<http://www.maff.go.jp/>)

(財)日本農林漁業振興会 (<http://www.affskk.jp/index.html>)

### ○日時

平成 20 年 11 月 14 日 (金曜日) 10 時 30 分～17 時～15 日 (土曜日) 10 時～17 時

### ○場所

東京都江東区有明 3-21-1

東京国際展示場 (東京ビッグサイト) 西 4 ホール・屋上展示場

~~~~~

### 編集後記【閑話】

ニュースレターの発行が遅くなりましたこと、まずは、お詫びをいたします。申し訳ありませんでした。その上で、大変恐縮なのですが、いも類に関する新たな知見、地域での情報等々ありましたら、事務局に一報いただければ幸いです。よろしく願いいたします。